

モニタリングレポート(令和6年度)

施設名		ベルホーム				
施設所在地		鈴鹿市江島町3447番地の5				
指定管理者名		社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会				
評価担当課		障がい福祉課		問合せ先	059-382-7626	
施設の運営状況		(確認方法)月次報告、事業報告書				
生活介護利用登録者 (年度末)	43名	延べ利用者数	6,034名	平均利用者数	23.6名	
日中一時利用登録者 (年度末)	3名	延べ利用者数	27名			
事業収支		(確認方法)事業報告書				
項目		計画値(単位:円)		実績値(単位:円)		計画比(単位:円)
指定管理料		29,993,000		29,993,000		0
介護保険事業収入		0		0		0
障害福祉サービス等事業収入		83,115,000		84,433,543		1,318,543
その他		140,000		193,083		53,083
事業活動収入計		113,248,000		114,619,626		1,371,626
人件費(給与・法定福利費等		98,244,000		97,428,113		▲ 815,887
事業費		4,506,000		4,484,284		▲ 21,716
諸謝金		312,000		312,000		0
保健衛生費		134,000		115,714		▲ 18,286
教養娯楽費		205,000		199,923		▲ 5,077
消耗器具備品費		1,093,000		1,089,757		▲ 3,243
車両費		2,762,000		2,766,890		4,890
雑支出		0		0		0
事務費		17,704,000		17,542,936		▲ 161,064
福利厚生費・旅費・研修費		497,000		496,474		▲ 526
事務消耗品費・印刷製本費		204,000		194,557		▲ 9,443
水道光熱費		3,084,000		2,976,949		▲ 107,051
修繕費		397,000		395,340		▲ 1,660
通信運搬費		407,000		400,000		▲ 7,000
業務委託費		8,831,000		8,833,385		2,385
手数料		40,000		38,700		▲ 1,300
保険料		610,000		609,440		▲ 560
賃借料		2,739,000		2,703,916		▲ 35,084
租税公課		5,000		4,935		▲ 65
保守料		890,000		889,240		▲ 760
負担金		16,000		16,000		0
事業活動支出計		120,470,000		119,471,333		▲ 998,667
事業活動収支		▲ 7,222,000		▲ 4,851,707		2,370,293
施設整備等による収支		▲ 580,000		▲ 579,150		850
その他の活動による収支		▲ 4,573,000		▲ 4,174,760		398,240
当期資金収支		▲ 12,375,000		▲ 9,605,617		2,769,383

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価)	月次報告書	○	適切に履行されている
	現地調査	○	適切に履行されている
	定例報告会	○	適切に履行されている
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価)	アンケート	優良	要望はあるが、利用者は満足している
	現地調査	優良	利用者への支援内容は適切である
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価)	貸借対照表 (拠点区分)	○	純資産がプラスである。
	年度事業報告書	△	本年度収支はマイナスとなっているが、前年度までの資金残高により調整できており問題は無い。
	年度事業報告書	○	資産が負債を上回っている。 (差引純資産がプラス)
年度業務報告書の内容評価			(適)・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力いずれの点においても優秀な内容である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			(適)・不適
月1回の定例報告を受けている。 課題等については、随時協議を行っている。			
緊急時の対応評価			(適)・不適
緊急的な報告を要する案件はなかった。 法人内部での報告体制はできており、必要事項は市にも報告される。 また、基本的な衛生対策も適切に実施している。			
指定管理者の総括評価			(適)・不適
業務の履行やサービスの質、業務遂行能力では問題はない。			
施設の課題と対策			
老朽化が進んでおり、今後、利用希望者のニーズに答えられる体制を構築していく必要がある。 また、さつき棟の空調機、けやき棟の屋根や外壁が老朽化しており、改修工事を実施する場合は障害特性に応じた配慮が必要である。			
施設の方向性			
利用者からは安定した施設の運営が求められており、施設の継続は必須である。 引き続き、利用者の満足度を向上させる運営を行っていく。			